

『文語にて日記を書く』

愛甲次郎 あいかふじらう

講演要旨 文語にて日記を書く

(愛甲次郎 第八回文語シンポジウム)

1. わが文語は世界五大文章語の一にして、世界に誇るべき遺産なるも、二回にわたる社会的大變動を経て、今や絶滅の危機に瀕しつつあり。

2. 文語は書き言葉として発展したれば、極めて書くに適したる手段なり。

3. 現代において文語を活用すべき分野は日記、書簡、紀行文の三なり。

4. 文語作文は日記より入るを良しとす。何らの準備も要せざるが故なり。

5. 口語にて書かれたる文章を徐々に文語化するこ
とにより全體を文語となす要領を具體例により解
説。

6. 文語作文に上達するためには徹底的に模倣すべ
し。

例 永井荷風 “斷腸亭日乗”

7. 文語作文を點檢すべき「文語作文のチェックポ
イント」(配布資料)を解説。

8. 「方丈記」の全文書寫を勸奨。